

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

取組事例編7

信州型コミュニティスクール（信州型CS）の取組がスタートし4年目を迎えました。推進にあたって、「学校支援活動」－「学校運営委員会」－「学校関係者評価」－「コーディネートの機能」を地域の実情に合わせて組織的に取り組んでいくことを大切にしてきました。様々な取組をしていく中で、学校と地域が一体となって、子どもたちを育てていく事例が報告されるようになってきました。

「オール豊丘」を合言葉に信州型CSの立ち上げへ | 豊丘村



豊丘村キャラクター
「だんQくん」

豊丘村は、下伊那地域の北東部に位置し、人口6,500人（H28.11.1）、河岸段丘によって開けた村で、果物やマツタケの産地として有名です。これからの村づくりを熟議する中で、村民みんなで子どもを育てる仕組みづくりをすすめていくため、信州型CSを立ち上げることを決定しました。

平成28年4月の立ち上げまでの準備期間は半年。前年9月からコーディネーターに任命された原さんは奔走しました。



◀ 原 国人 さん
公民館長
コーディネーター

たった半年でどうやって立ち上げたらいいのか...
何から手をつけたらいいのか...

👍 保小中のヒアリングを行い、それぞれの教育課題を把握し、人材の確保や調整を行いました。

学校、地域へ何回も出向き、教員の皆さんとも徐々に打ち解けました。

👍 3校（南小・北小・豊丘中）の教頭を中心とした作業部会を設置して準備に取り組みました。

中心となる関係者との打ち合わせがとてもよかったと思います。

👍 CS先進校を視察し、子どもたちの様子や運営の工夫などを学びました。

他地域の先進的な取組がとても参考になりました。



豊丘村CSの取組事例

■ 教室の見守り活動（南小・北小）

ボランティアが教室に入って教員をサポートし、児童の授業内容の理解が進むように「見守り活動」を取り入れました。

始まったばかりで手探りの状態ですが、地域の応援が良い力となって、子どもたちが力強く育ってくれたら。

（南小地域コーディネーター

寺澤さん）



■ 中学生がボランティア（豊丘中）

中学生が、保育園の草取りや福祉施設でのお手伝いなどをします。働く意味を学び、自己有用感を高めていきます。教育委員会と社会福祉協議会が連携してこの活動を支えています。

本を磨いてびかびかになるのもうれしいし、図書館や地域の方の少しでも役に立てることがうれしい。

（豊丘中3年生）



（南信教育事務所飯田事務所 指導主事 中上敬介）

ボランティアと学校のニーズをマッチングし、広がる支援活動 | 高山村

これまで…

読み聞かせ、クラブ・書写の講師などのボランティアを、学校が個人やグループへ個別に依頼

—個別依頼のため、ボランティアは思いを伝えづらい。学校は支援をだれに依頼してよいか迷う。

ボランティアと学校のニーズのマッチングを目指して

✓ ボランティアを登録制に。

読み聞かせなどの各活動の代表者を決め、コーディネーターと連絡調整する。

✓ ボランティアの窓口と学校の窓口を設置。

それぞれの窓口を担当するコーディネーターと教頭とのあいだで調整を行う。

✓ 打ち合わせ会・まとめの会を実施。

ボランティアと学校とが情報交換・共通理解・評価できる場を設ける。

—学校とボランティアのニーズが調整できるようになり、支援活動の広がりが生まれた。

■ 打ち合わせ会・まとめの会の実施

学校関係者とボランティアとが集う機会をつくりました。打ち合わせ会では、ボランティア活動要項や活動計画、学校からの依頼を確認しました。

年度末にはまとめの会を行い、お互いの活動や反省など情報交換をしました。

これまでの学校担当者と個々の支援ボランティアという縦のつながりに加え、ボランティア同士の横のつながりが生まれました。



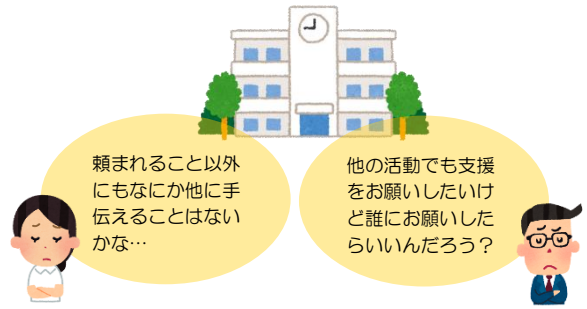
■ 広がる学校支援

関係者同士がつながったことで、支援活動の幅も広がりをみせています。

ある日の清掃時間。ほうきの掃き方、ぞうきんの絞り方、かけ方…子どもたちは、ボランティアの皆さんの姿を真似ながら、掃除に取り組みます。清掃支援の日時は特に決まっていません。ボランティアの都合のつく日に入ります。「無理せず、できる時に、できる人で取り組むこと」が長続きの秘訣です。

日常の教育活動の中に、ボランティアの皆さんがとけ込み、子どもたちの活動をあたたかく見守っています。

(北信教育事務所 指導主事 西澤 慎治)



一斉配信システムの活用

学校のニーズとボランティアを即時につないでいます。

学校が一斉配信システムを使って登録ボランティアに呼びかけると…



すぐに数名のボランティアが、OKの返事をくれました。



地域と学校が協働した防災教育 | 諏訪市・辰野町

諏訪・上伊那地域では、これまで度々大きな災害に遭ってきました。

- ☞ 1983年9月下旬、日本付近を通過した台風の大雨により、流域からの流入量が増大し、諏訪湖が氾濫し、浸水棟数3637棟の被害を受けました。
- ☞ 2006年7月中旬、梅雨前線により降り続いた雨により、土石流が発生し、住宅家屋の全半壊29棟、浸水等271棟、多くの地域住民を巻き込む豪雨災害が発生しました。

過去の教訓から、諏訪・上伊那地域の皆さんの防災意識は日頃から高く、学校においても防災教育に力を入れてきました。そうした中、「昼間は大人がいない」という地域課題や「子どもたちのためにできることは何か」という願いから、CS運営委員会などで話し合いが行われ、地域と学校が協働した防災教育の取組が始まりました。

Suggestion!



PTA夏祭りとコラボレーションした防災教室（諏訪市立四賀小学校）

CS運営委員会・PTAにおいて話し合う中で、「PTA夏祭り」の中に「防災教室」を盛り込もうというアイデアが生まれました。様々な工夫をこらした体験を通して子どもたちの防災意識を育むことにつながりました。



◀ ドローンの撮影写真や非常持ち出しグッズの展示などをまわりながら、ポイントラリー形式で、防災について学びました。



◀ 模型から土石流の発生する様子を目の当たりにしました。赤十字支援団の方に手伝ってもらいながら、ハイゼックス（災害救助用炊飯袋）炊飯の体験をしました。



普段、学校ではできないことをさせていただきました。このような取組はありがたかったです。（教員）

土石流の様子を見て、自然の力はすごいと思った。防災のことをしっかり学べてよかった。（児童）



展示されていた防災グッズを見て、すぐ買いに行きました。（PTA）

避難所体験を通した防災訓練「学校へ避難しよう」

（諏訪市立豊田小学校）

CS運営委員会「チーム豊田」が中心となり、学校を避難所として、非常食を食べたり、段ボールベッドを作って寝たりするなどの体験を行いました。

▼ 非常食のキャンパン、アルファ米の試食をしました。食べやすさに驚きましたが、日常の食事の有り難さを実感する機会となりました。



▲ 地域消防団の方からは、プライベートスペース、段ボールベッドの作り方を教わり、一晩親子で寝ました。もしもの時の心構えがもてました。



命を守る災害時の対処法を学ぶ

（辰野町立辰野中学校）

消防士や日赤奉仕団の方から、災害に遭った時の対処法や心構えを教わり、災害時の具体的な行動の仕方を学ぶことができました。

▼ 日赤奉仕団の方から、災害時に寒さを防ぐため、身近にある毛布を使って上着を作ることができることを教わりました。



▲ 消防士から心肺蘇生法（AEDの使用を含む）や災害に役立つロープワークなどを教わりました。体験を通し、いざというときの心構えを学びました。

（南信教育事務所 指導主事 林 尚之）

地域がかかわる中学生の放課後学習支援 | 富士見町

「もっと勉強したい!」と希望する中学生を対象に、地域の方が参画し、放課後の学習支援をするものです。(国庫補助事業を活用して実施)

平成27年度から始まって、現在県下では、10市町村16中学校でこの取組が行われています。タブレットの活用、民間の塾との連携、高校生や大学生の講師の活躍といったように、各市町村で特色のある学習支援が行われています。今回はそのなかから富士見町を紹介します。

✓ 各市町村の様子を取組事例集として 県のHPに掲載しています!
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/chiikimiraijuku.html>

II グローアップ講座 (富士見町立富士見中学校)

- ④ 夕学 (週1回90分・1~3年生対象) と朝学 (週3回朝30分の学習・3年生対象) があります。
- ④ 夕学は、学習状況に合わせて月ごとに何をやるかを決め、その都度生徒を募集します。また、共通学習の時間と自由に学習する時間とがあります。
- ④ 元教員、元大学教授、塾講師、議員など15名がボランティアで講師をつとめます。



夕学用学習プリント



ボランティアルーム

難しい問題が解けると、ほめてもらえることもあり、やる気につながってうれしかったです。教えて下さった地域の方々ありがとうございました。

(富士見中3年生)

生徒のやる気と熱意あるボランティアの方々によって支えられています。生徒や学校の先生の役にたてるようにと取り組んでいます。



◀ 伊藤 恵子コーディネーター

コーディネーターは、生徒の募集、講師との打ち合わせを行い、生徒と講師、学校と地域をつないでいます。

(文化財・生涯学習課 指導主事 井口 淳)

■■ お問い合わせ先 ■■

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 Tel: 026-235-7437 E-mail: bunsho@pref.nagano.lg.jp

南信教育事務所生涯学習課 Tel.0265-76-6861

東信教育事務所生涯学習課 Tel.0267-31-0252

中信教育事務所生涯学習課 Tel.0263-40-1977

南信教育事務所飯田事務所 Tel.0265-53-0460

長野県生涯学習推進センター Tel.0263-53-8822

北信教育事務所生涯学習課 Tel.026-234-9552

この資料は、長野県公式HPからダウンロードできます ▶▶▶ <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/cs.html>